

令和元年 明けまして おめでとうございます

5月1日(水)に新しく徳仁天皇陛下がご即位され、令和元年が始まりました。素晴らしい時代の幕開けとなりますよう祈念いたします。私事ですが、昭和58年度に教員となり、平成の時代を過ごし、還暦を迎える今年度、令和時代を迎えることができたことを大変嬉しく思っています。

令和元年度も『感謝・尊敬・寛容』を心の中心に置き、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ『令和』にふさわしい年度となりますよう、江津東小学校の全教職員と心を合わせ、一生懸命に頑張っていこうと思います。平成と変わらず、令和元年度もどうかご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

授業公開日 PTA総会

4月19日(金)に今年度初の授業公開日、PTA総会を実施しました。保護者の皆様には多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。子どもたちも緊張したことと思います。しかし、しっかりと学習に取り組んでいる姿を保護者の方々に見ていただいたことは、子どもたちの大きな励みになったに違いありません。子どもは温かい眼差しに包まれてこそ、最大の成長を遂げます。今後とも、授業公開日や学校行事へ積極的にご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



1年生の授業風景

PTA総会では、次のような内容を話しました。

「確かな学力」「生きる力」とは、「幸せになる力」「日々幸せを感じながら生きる能力」だと思います。いくら知識が豊富で、知的能力が高くても、それを犯罪に使ったり、自分や他者が不幸になるように使ったりするのは意味がありません。そのためにも道徳教育や人権・同和教育、情操教育などをバランス良く取り入れた全人的な教育は不可欠です。幸せにつながらない学力では意味がないのです。

そして、「幸せ」とは何だろうと考えた時、究極的には「感謝できている心理状態」だと考えます。人でも、自然でも、神仏でも、事柄でも、何かに感謝できているとき、人は幸せです。また、『人は幸せの度合いに応じて感謝するのではない、感謝する度合いに応じて幸せになるのだ』という言葉もあります。学校では、日々いろいろなことが起きます。楽しいことだけでなく、その逆の辛いことも起きます。しかし、それも一緒にいる仲間との関わり合いがあつてこそ起きることです。たとえ今のところは、顔を背け合う関係の相手であっても、大切な仲間なのです。様々なことを乗り越えていって、感謝に昇華することができれば、幸福感が強まり、力が湧き、夢が育まれていくはずで、そのため、教育活動の中に、子どもたちが人と関わり合う体験的な活動を多く取り入れたいと思います。私たち教職員も、様々な出来事を学びの材料に変え、最後には感謝できる結末へ導いていけるように、子どもたちの心に寄り添いながら、支援、指導に全力を尽くしていきたいと思います。

また、教育は教師と子どもとの間に尊敬や敬意のある関係においてこそ、最大の効果を上げます。そうなるために教職員は日々自己研鑽に励むことが必要です。それと同時に、子どもたちが他者の良さを見つけ、素直に人を尊敬できる力を身につけることが重要だと考えます。他者を尊敬できる子を育てていくことが最高の教育に近づく道だと思っています。人を尊敬したとき、人に憧れたときには「その人のようになりたい！」と強烈な学習意欲が湧きます。様々な良さを見つけ、素直に他者を尊敬できる力と、何事にも前向きな意味を見いだし、感謝に変えることができる力を持って、人生を歩んでいける

子どもたちを育てられるように頑張っていきたいと思います。

そして寛容。『自分や他者を優しい眼差しで見て、理解し、赦す力』です。それは幸せになるための原動力だと思います。それを今年度も重視していきたいと思います。「人は誰もが自分と同じように一生懸命生きている仲間だ」という感覚や捉え方は、他者理解の力を強化します。他者を理解する力は、良好な人間関係構築のための強力な接着剤となります。「つきあい」から「ふれあい」へと交流の質まで変えていきます。そのような力を、是非子どもたちが身につけていってほしいと願っています。

そして、今年合い言葉を作りました。『ひがし・あい』です。二つの意味があります。一つ目は愛情の愛、二つ目は「～し合う」の「合い」です。

まず、愛情の方の『ひがし愛』ですが、それはこの江津東小学校の地域を、人を、自然や文化を大好きになり、大切にしていこうとする心のことです。

もう一つの「～し合う」の方の『ひがし合い』は、ひと（特に友達）と優しくし合うこと、**がんば**って学び合うこと、**しん**を持ってたくましく明るく生活し、支え合うことです。みんなで幸せになり合うことです。

これまでずっと言ってきた『感謝・尊敬・寛容』を心の中心における人は『愛のある人』だと思います。その『愛のある人』に向かって子どもたちが成長し、「人に優しくできる子、頑張る学ぶ子、芯が強たくたくましい子」に育っていけるよう、これまで同様、職員一同一丸となり頑張っていきますので、ご理解ご協力のほど、どうかよろしくお願いいたします。

最後に、親は自分の子どもが一番大事ですし、そうでなければ困ります。しかし、自分の子ども一人だけがいい子になることはできません。人は社会的な生き物です。ですから、自分一人だけが幸せになることはできないのだそうです。「**幸せになるなら、みんなです！**」が鉄則のようです。非現実的だと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、その方向を目指している間、社会は健全な流れ（幸せに向かう流れ）を保つことができると思います。自分の子がいい子になるためには、まわりの子もいい子になってくれないは無理なのです。そのためにPTAがあります。あらゆる組織は、そもそもみんなの幸せを目指して作られたのです。PTA会員みんなが手をつなぎ合って、江津東小学校の子どもをいい子に育て、みんなが幸せになることを願っています。私も年男パワーで、江津東小学校教職員全員と一緒に、猪突猛進で頑張っていきたいと思いますので、今後のPTA活動の充実に向けて、ご理解ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

1年生を迎える会

4月23日（火）に1年生を迎える会がありました。6年生が中心となって会を企画・運営しました。6年生として本格的に全校を動かすという経験は、今年



度初めてであり、ずいぶん緊張したのではないかと思います。みんなで協力して、スムーズに運営できました。1年生が喜んでくれるようにと、様々な工夫をし、クラスで協力し合い、会を成功させようとしつかりと準備をしてきたことがわかりました。



6年生のキビキビとした動き、わかりやすいはっきりとした声での進行など、リーダーシップが光っていました。とても頼もしく感じました。6年生は、これから最高学年として全校を動かし、リードしていくことが多くなります。今日の経験をもとに、これからも一層成長して行ってほしいと思います。



また、1年生も、はじめをもって、しっかりと参加できました。入学して間もないこの時期に、きちんと集団行動がとれていることは素晴らしいと思います。落ち着いた立派な態度でした。これからも、学校生活の中で、しっかり学び、しっかり遊んで、力を伸ばして行ってほしいと思います。楽しい思い出をたくさん作って行ってほしいと思います。

東っ子チャレンジ

5月10日（金）の1校時に、今年度初めての東っ子チャレンジを行いました。全校が静まりかえる中で、子どもたちは計算と漢字のテストに一生懸命に取り組んでいました。基礎学力を身につけるには、根気強い反復練習が必要不可欠です。これから、毎月実施する東っ子チャレンジをうまく活かして、望ましい学習習慣を身につけることができるよう指導に力を入れていきたいと思っています。また、子ども自身の学習意欲を高めることにも力を入れていきます。ご家庭でも意識付け、励まし、声かけなどで、温かく応援していただきますよう、よろしくお願いいたします。

交通安全教室

5月10日（金）に3名の警察官の方に来ていただき、交通安全教室を実施しました。全体指導の後、低・中・高学年に別れて、歩行や横断、自転車の乗り方などの実技指導を受けました。子どもたちは真剣な表情で、交通安全教室に参加していました。もともと交通量の多いところである上に、バイパスも開通しました。危険度も高まっていると考えます。安全への意識をしっかりと高め、自分の安全を守る力、危険回避能力を高めて行ってほしいと思います。今日の交通安全教室を機会に、今後も引き続き、交通安全を含めて、大切な命を守るための安全教育を推進していきたいと思っています。



赤ちゃん登校日

今年度も高塚人志先生（城西大学特任教授）に来ていただき、5月8日（水）にプレ赤ちゃん登校日（赤ちゃん登校日前日の事前指導）、5月9日（木）に第1回目の赤ちゃん登校日を実施しました。平成21年度から始まったこの取組は、今年度で11回目となります。本校の伝統となったこの取組を、子どもたちはとても楽しみにしていましたが、さすがに初対面となる今回は、ずいぶん緊張した面持ちでした。しかし、徐々に慣れ、だんだんと赤ちゃんとのふれあいや、お母さんたちとの会話ができるようになってきました。後半には子どもたちも2回目の出合いを楽しみにできるようになってきたのでは、と感じました。これから赤ちゃん親子との出合いを重ねる中で、子どもたちは沢山のことを学んでいくことだろうと思います。今回の経験を通して、自分自身が大切に育てられてきたことに思いを馳せ、愛情を込めて世話をしてくださった方々へ対して、



改めて感謝の思いを強くしてほしいと思います。

今年NHKのニュースでも放映され、江津市のホームページにも、「素晴らしい取組だ」という応援のメッセージが寄せられました。毎年感じるのですが、5年生という多感な時期に、赤ちゃんやそのご両親との生の出会いをするという貴重な経験をさせてもらえることは大変教育的に意義があることだと思います。この出会いが持つインパクトは、子どもの忘れられない思い出になることなのでしょう。このような機会に恵まれているということは、全国の小学生の中でも希有なことでもあります。この教育活動を進めるにあたって、子育てサポートセンターの皆様を初め、関係の皆様に変なご尽力を賜りますこと、本当に感謝です。第2回目は6月4日(火)、最終の第3回目は6月28日(金)のいずれも午前9時30分から、体育館において行います。観覧席も用意しておりますので、ご興味のある方は是非ご来校ください。

また、4年生は6月4日午後1時30分よりコミュニケーション講座を行います。来年度の赤ちゃん登校日に向けての事前学習の意味を持ちます。コミュニケーション能力を身につけるには、体験的な学習の積み重ねが必要です。4年生以上は、他者との関わりを通じた体験的な学習への取組を充実させていき、実際に社会でも役立つコミュニケーション能力を獲得させていきたいと考えています。



第9 4回玉江少年体育大会迫る

玉江少年体育大会が5月25日に迫りました。選手も応援団も一生懸命練習しています。結果は後からついてきます。自分自身と向き合い、悔いのない一日にできること、仲間と心を通じ合わせることが一番大事だと考え、指導しています。子どもたちの成長の糧となる経験となりますよう、大会に向けてのご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



お知らせとお願い

今年度は、10連休があったり、新しい元号もスタートしたりするなど、大変特別な年であるように感じます。来年度から新学習指導要領が完全実施となり、教育内容も大きく変わっていきます。その他にも教育改革の流れの中、様々な変化が学校現場で起きてくることと予想されます。児童数や保護者数の減少という本校の実情もあり、今後、教育活動、PTA活動などにおいて、様々な課題への対応が必要になってくることと思います。学校における喫緊の課題としては、授業時数の確保、教育課程の工夫、行事の精選等が挙げられます。そのような実情の中、今年度から給食試食会を1・4年生のみの実施とさせていただきます。東っ子を語る会、学校関係者評価委員会等、他の行事や会合等についても、今年度のところで、在り方、持ち方を検討し、改善に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうかご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。